36 食品開発 株式会社

見積書の作成画面

書類作成をシステム化し 大幅な業務効率化を実現

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

各社個別フォーマットへ 簡単にデータ出力できる業務ソフトの開発

■ 事業概要

食品関連ギフトの流通では、食品メーカーがギフト販売会社などへ商品を提案する際に、顧客ごとに指定された専用フォーマットでの提出が求められる。一方、各フォーマットへの書き込み作業は煩雑で、生産性向上の妨げとなっている。現状では対応できる市販ソフトもなく、自動化が課題となっていた。こうした業務上の必要性から、多様なフォーマットへ自由に書き出しができるソフトの試作開発とクラウド版を開発し、食品メーカーなどが抱える課題解決を目指した。

システムによる書類作成で効率化

課題	取組	成果
●各社の異なるフォーマットに自社のデータベースから必要な情報や写真を拾い上げて商品提案書類などを作成するため時間がかかり、1日の書類作成数にも限界がある。	●商品情報などのデータを各フォーマットに自動変換するシステムを自社用に開発。同システムを自社でも使いたいという取引先からの要望で、汎用性のあるシステムとクラウド版を開発。	●1日平均で約50アイテムの企画提案書作成が限界だったが、開発したシステムでは500アイテムの企画提案書が約30分で出力できる。入力ミスの削減にもつながった。

業務内容

食品ギフトとシステム開発を手がける

食品ギフト業界の川中企業として、各地の食品メーカーなどの製品から商品を発掘し、百貨店や通販会社にギフト商品として企画・提案をしていくのが主な事業内容だ。全国の名産品やブランド品、メーカー商品を百貨店や通販会社などへ提案し、百貨店や通販会社のカタログやウェブサイトに掲載・販売し、受発注する。商流はBtoBだが、物流はBtoCとなる。食品メーカーのキャンペーン企画も手がけ、平成29年度の売上高は前年比で倍増となった。

補助事業でさらなる業務効率化へ

今回の補助事業では、自社用に開発したシステムを商品として他社へ販売できるよう改良を加えた。さまざまなデータを直接取り込んでデータベース化し、多様な雛形に合わせてデータの書き出しができる機能を実装。従来の市販ソフトは商品管理や見積管理は可能だが、多様なフォーマットへの自動出力はできなかった。商品管理や見積管理といった基幹業務のほか、商品写真管理機能なども実装している。システムに詳しくない社員でも10分程度の簡単な説明で問題なく使うことができたという。

前職では営業職ながらシステム関連まで携わっていたという片山良夫社長は「人手は減っていくがサービスの質は維持しなければならないとなった時、システムによる自動化や効率化はさらに重要になってくる」と強調する。

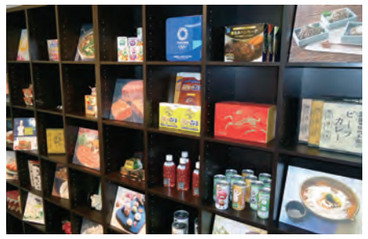
システムトップページ

強みとビジョン

自社開発システムでの一元管理が強み

同社は、商品の企画・提案だけでなく自社開発システムによる商品情報などの一元管理を強みとする。食品メーカーなどから提案された商品をすべてデータベースに登録し、約２万アイテムの中から案件に合う商品の提案が可能だ。補助事業のように提案書作成を効率化し、スピード提案にも自信を持つ。片山社長自らシステムを開発しており、社内でシステム開発人材の育成も進めている。

今回のシステムは販売を目的として開発した。従来から取引のある企業に対して一部導入が進んでいる。今後は約1000社へのシステムの導入を目指していく。


これまで提案した商品群

システム販売や海外展開も狙う

令和元年１月に４温度帯に対応する上郡物流センター（兵庫県上郡町）を竣工した。物流会社の設立を見据え、前身として物流事業を立ち上げている。

将来的には海外展開も視野に入れる。日本の人口減少に伴い、食品市場も縮小が懸念される。片山社長は「食品を扱っているので、人の口の数だけ需要がある」と話す。システム販売で利益を生み出し、海外展開への投資に振り向けたい考え。海外展開に対応する人材の採用も検討していく。

上郡物流センター

「かゆいところに手が届く」システム開発を

食品ギフト業界ではシステムがなければ効率的な仕事や、お客さまへのサービスはできません。システムを外注するだけでは得られない、現場を知っているからこそできる「かゆいところに手が届く」システムの開発に取り組んでいます。昨今の人手不足の問題もシステマチックに課題解決できる、特徴ある企業を目指しています。

●社　名　食品開発 株式会社
●代表者　代表取締役　片山 良夫
●住　所　〒540-0033
大阪市中央区石町1-2-9 天満橋シルバービル3F
●ＴＥＬ　06-6920-3331　●ＦＡＸ　06-6920-3332
●資本金　12,000千円　●従業員　23名
<<< 代表取締役　片山 良夫

http://www.fdc-net.jp/

●主な取引先　百貨店、ギフト卸売業者、通販会社、食品メーカーなど

短納期　企画力　オンリーワン技術

REPORTER'S EYE

人手不足によるシステム化や自動化の動きは今後も加速する。今回のシステム開発には、片山社長の「もともと面倒なことが大嫌いなタイプなのでなるべく効率化したい」という思いも込められている。同システムを先行して導入するメーカーからは好評を得ているという。システム販売を早期に実現し、軌道に乗せたその先にある海外展開にも期待がかかる。一方で、同社の強みであるさらなる効率化に向けたシステム開発にも注目したい。